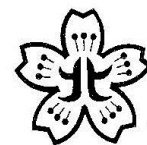


学 校
だより

や ま 桜

平成28年1月29日
南足柄市立北足柄小学校



平成28年のスタート... 『今年もよい年に』

平成28年が始まりました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

冬休みが明けて、また3日間の休みがあり、今年の手紙初めは12日(火)に全校で行いました。1~2年生は教室で硬筆による手紙初めを、3~6年生は体育館で毛筆による手紙初めを行いました。少し寒い体育館では「春の海」という琴の音色が静かに流れ、身が引き締まるような凜とした雰囲気の中で、子どもたちは太筆で堂々と書き上げていました。



今年北足柄地区のどんど焼きが9日(土)に内山・矢倉沢地区、14日(木)に地藏堂で行われました。冬休み中に子どもたちが練習した手紙初めが、竹ざおの先につけられ、炎に焼かれて空高く舞い上がる様子を見ながら、「今年もよい年でありますように」と願いました。

また、10日(日)には、午前中に出初め式が、午後からは成人式が行われました。出初式での消防操法の演技では、消防団の方たちのきびきびとした行動を見ながら、地域の安全を守る大きな役割を果たされていることに感謝しました。特に昨年暮れの大雄町での住宅火災では、5軒もの家が燃えてしまう大きな火災が発生しました。市内のすべての消防団が出動され、最後まで消火活動に従事されたそうです。地域を守る消防団の皆様に改めて感謝です。

午後の成人式では、アトラクションとして足柄高校吹奏楽部のマーチングも取り入れた元気な演奏が大ホール全体に広がり、新成人の代表である成人式実行委員長から成人式を迎えた仲間たちへさわやかなあいさつがありました。そのあとの式典では、市長さんの式辞、祝辞等のあと、新成人を代表して「新成人の言葉」が述べられました。その言葉には、成人としてこれから進む未来への強い決意があらわれ、たいへんすばらしい内容でした。これからの南足柄市を担うすばらしい新成人の皆さんに、いっぱいのお幸あれ!と心からエールを送りました。

自分の命は自分で守る ~先生方の防火シャッターの取扱い研修と児童の避難訓練~

1995年1月17日の阪神淡路大震災が起きました。そして、2011年3月11日の東日本大震災は、東北地方で発生したにもかかわらず、ここ神奈川県でもこれまで経験したことのない非常に大きな揺れを感じる地震に突然襲われました。昨年末には、北足柄でも瞬間的でしたが短く強い地震が発生しました。学校では地震発生後、防火シャッターが作動し、非常ベルが鳴る出来事がありました。

早速、防火シャッターが作動した際の対応について、大東防災の方を講師に招き、改めて職員全員で研修会を行いました。シャッターが下りてきたときには、その下を歩かないことや横のドアから逃げるなど、まず職員が理解していなくてはなりません。さらに、非常ベルがなった後の処置の仕方についても説明を受けました。子どもたちを誘導するときに身につけておくべき行動です。



地震はいつ発生するかわかりません。どんな時でも、落ち着いて自分の命を守る行動をとってほしいという願いのもと、事前予告なしの避難訓練を、14日(木)の中休みにおこないました。子どもたちは次々に外へ避難してきました。そして、いつものように学年毎に整列し、全員の安否確認・人数確認をしました。訓練のあと、子どもたちと地震が起きたときの3つの「命を守るための行動」を確認しました。

地震が起きたら、物が落ちてこない、倒れてこない、動いてこない場所で、揺れが収まるまで、

- ① 体を低くする
- ② 頭を守る
- ③ 動かない

そして、揺れが収まったら、安全に避難する。揺れている間はあわてて動かない。「おかしも」の約束を守ること。

今回の訓練で、子どもたちは「命を守るための行動」を考え、真剣に訓練に臨むことができました。合わせて、職員も非常に時に考えられるさまざまな想定のもと、子どもたちの安全を最優先に、どうすべきかを考え行動しました。今回の訓練では、子どもたち、そして職員も落ち着いて行動することができました。あってほしくはありませんが、もし本当に地震が起きたら… これからも様々なことを想定し、もしものときに備えて訓練を重ねていきたいと思っております。

百人一首大会(文化委員会による児童集会) 1月13日(水)



13日(水)、文化委員会主催の百人一首大会がおこなわれました。北足柄小では、6年前から、五色百人一首(20枚ずつ5色に色分け)にチャレンジタイム・朝のスキルタイム等で取り組んでいます。現在では、文化委員会が中心となり、子どもたちが取り組む集会として、百人一首大会となりました。年2回おこなっています。自分の好きな色を選び、それぞれに学年を超えて対戦し、1年生も上級生に混じって挑戦しました。

慣れ親しんでくると、読み手が上の句を読み始めるとすぐに、「はい!」という声があちこちから聞こえてきます。子どもたちの記憶力には感心させられます。南足柄中学校でも百人一首が行われていて、北足柄小学校出身者が善戦していると聞いています。今後も楽しみながら、百人一首に取り組んでいきたいと思っています。

薬物乱用防止教室(5・6年生) 1月18日(月)

18日(月)には薬物乱用防止教室が5・6年生を対象に行われました。現在の子どもたちを取り巻く社会はめまぐるしく変化していて、その変化に対応する取り組みが行われています。この薬物乱用防止教室は、神奈川県内のすべての中学校は必ず実施していて、小学校もできるだけ取り組むようにしている教室です。今回は南足柄ライオンズクラブの協力で、鳥居真弓さんを講師にお願いしました。今回のお話では、この薬物にかかわってしまった子どもの中には、4年生もいたことを聞きました。自分には係わり合いのない遠い世界のことでなく、身近な問題として捉える必要があります。

子どもたちの感想から

きけんな薬物の名前(ドラッグ)なども知れて、さまざまなしょうじょうを聞くことができました。1番小さい子で10才、私と1才しかちがわないと聞いてびっくりしました。他に、薬物をのんでビルからとびおりてしまった人もいるといわれてびっくりしました。私はこの授業を通して、薬物のことをくわしく分かることができたので今後も気をつけたいです。どんな人にさそわれてもぜったいことわろうと思います。

私は、薬物知識を少ししか、今まで知らなくて、幻覚、幻聴だけじゃなくて手足がしびれるのがおこるのは、(身体に影響があるのは)知らなかったので勉強になりました。それから、自分がやめても、脳は覚えていて、一生フラッシュバックするというものはじめて知ったし、びっくりしました。薬物をやったらどうなるかわくわしく知って、もし「やろう!」と言われたり、あやしいことを言われたりしたら、きっぱりことわる、あるいはむしをしようと思います。よい勉強になりました。

うどんづくり(内山福祉会と6年生) 1月28日(木)

毎年、内山福祉会と「万葉うどん」の和田さんにご協力をいただいて、6年生が「うどんうち体験」を行っています。今年も、28日(木)の午後から、内山福祉会の方や保護者の方と6年生による本物のうどんづくりに挑戦しました。

最初に和田さんから作り方の説明をしていただきました。小麦粉と塩水を混ぜてから良くこねていきます。このとき、塩水は生卵が浮くくらいの濃度にするそうです。子どもたちにとっては、初めてのうどんづくりでしたが、福祉会の方の応援もあり、おいしいうどんが無事に出来上がりました。

早速いただくと、自作のうどんのおいしさに大満足の6年生でした。内山福祉会の方には、バスロータリーの花の植替え(6月・11月)、2月の卒業作業でもご協力いただいています。毎年のことですが、こうした地域の方たちの温かいご支援により、子どもたちが豊かな体験活動がおこなえていることに心から感謝します。ありがとうございます。



2月の予定

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1日(月) 健康安全ふれあいの日 | 16日(火) ありがとう集会 |
| 2日(火) 3年クラブ見学 | 22日(月) クラブ活動(まとめ) |
| 3日(水) 南中生職場体験(~4日) | 23日(火) 朝会 |
| 8日(月) 朝会 | 26日(金) 集金日 |
| 9日(火) 6年校外学習(南小と交流) | 29日(月) 授業参観・懇談会 |
| 15日(月) 委員会活動(まとめ) | |